

IRB番号「2023-GB-106」

研究課題名「腹腔内にびまん性の播種を認める進行卵巣癌のInterval Debulking Surgery (IDS) における
残存腫瘍に関連する因子の検討
」

1. 研究の対象

- ・2012年1月から2022年6月の期間で当院で進行卵巣癌患（卵管癌、腹膜癌）と診断された症例
- ・治療開始前に審査腹腔鏡で腹腔内を観察し、PIスコアの確認ができる症例
- ・PIスコアでperitoneal carcinomatosis、bowel infiltration、mesenteric retractionのいずれかを認める症例
- ・組織型：高異型度漿液性癌

2. 研究の目的・方法

腹腔内にびまん性の播種を認める進行卵巣癌のinterval debulking surgery (IDS) を行う適切な時期を決定するために、残存腫瘍に関連する因子を後方視的に検討することである。

3. 研究期間

承認日 ～ 2024年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
研究対象者について、下記の臨床情報を電子カルテより取得する。
基本情報：年齢、原発、進行期、治療前の腫瘍マーカー（CA125）値、HRD検査、BRCAバリエーション
治療前の画像所見：原発、検査日、方法、主病変の大きさ、腫瘍の分布、腹水の有無
審査腹腔鏡：手術日、腹膜播種の有無、腹膜播種の分布、PIスコア、組織採取部位、手術時間、出血量
術前化学療法：化学療法開始日、レジメン、サイクル数、減量の有無、有害事象中止の有無
IDS前の画像所見：検査日、方法、主病変の大きさ、腫瘍の分布、腹水の有無
IDS：手術日、術式、手術時間、出血量、腫瘍残存の有無、腫瘍残存の部位
術後化学療法：化学療法開始日、レジメン、サイクル数、減量の有無、有害事象中止の有無
予後情報：最終確認日、再発の有無、再発部位、予後

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 婦人科 医員 西野 翔吾
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141